

青森県特別対策局県境再生対策室 現地事務所だより

第4号 平成16年11月26日発行

発行元:青森県特別対策局県境再生対策室現地事務所
〒039-0201 三戸郡田子町大字田子字天神堂向146
TEL 0179-20-7044
FAX 0179-20-7045
E-mail genchi@bz01.plala.or.jp

1 産業廃棄物撤去の試行の完了について

去る11月1日・2日・4日・5日の4日間にわたり、県境不法投棄現場から産業廃棄物の撤去試行を実施しました。

この試行は、今後の本格的な撤去作業に万全を期するために行ったもので、県が作成した作業マニュアルに従い慎重に実施され、計画どおり安全に事故なく終了しました。県では今回の試行結果を踏まえ、マニュアルに反映させるとともに、住民の皆様への情報提供に努めていくこととしています。

試行にあたりご協力いただきました住民の皆様にお礼を申し上げるとともに、試行の実施状況等についてご報告します。

試行期間 平成16年11月1日(月)・2日(火)・4日(木)・5日(金)の4日間

撤去場所 県境不法投棄現場:田子町大字茂市字川倉ノ上地内

受入先 青森市:「青森リニューアブル・エネルギー・リサイクリング」

撤去量等	運搬台数	撤去量(トン)	使用車輛
11月1日(月)	3台	26.50トン	天蓋車(12.5トン積)
11月2日(火)	3台	32.70トン	〃
11月4日(木)	3台	35.14トン	〃
11月5日(金)	3台	35.84トン	〃
合計	12台	130.18トン	

運搬時間 往路(青森市 田子町):3時間25分
復路(田子町 青森市):3時間41分(積荷確認時間(5~8分)を含む)

試行に係る情報公開について

試行の初日(11月1日)に一連の作業を公開し、参加いただいた住民の皆様、廃棄物の掘削・積み込み、不法投棄現場から青森市の受入先までの運搬、受入先での荷卸し等の工程をご覧いただいたところです。また撤去にあたりましては作業の安全性を確認するため次の3項目について調査を行いました。

- 運搬車輛の荷台の揮発性有機化合物のガス濃度調査
- 処理施設周辺の水質調査
- 不法投棄産業廃棄物を中間処理した際の排ガス測定

このうち 運搬車輛の荷台の揮発性有機化合物のガス濃度調査については、ベンゼン及びジクロロメタンの2種類について調査を実施し、運搬中における荷台からのガス漏れやガス爆発の心配がないことを確認しました。他の2つの調査については現在分析作業中であり、結果がまとまり次第公表します。



廃棄物の掘削・積み込み作業(11月1日)



洗車中の運搬車輛(11月1日)



中間処理施設に廃棄物を搬入(11月1日)

2 不法投棄産業廃棄物の撤去期間について

11月11日の町協議会、13日の県協議会におきまして、出席された委員の方から「県は平成24年度までに廃棄物を撤去することができるのか不安だ」という声をいただきました。田子町住民の皆様の中にも撤去の期限について心配されている方が多いかと思えます。

撤去期間につきましては、県が環境省に提出し同意を得た実施計画書に明記しているとおり、「平成24年度までに完了する」というものであり、この方針は13日の県協議会で県境再生対策室長からあらためて申し上げたところです。

(青森県総合販売戦略課からの情報提供)

婦人画報12月号(アセット婦人画報社)の特集記事『食のプロ30人に聞きました。師走の【おいしい取り寄せ】100』にレストラン「KIHACHI」で有名なカリスマシェフ熊谷喜八氏推奨で田子町の「初雪たけ」が選ばれました。6月に開催されたイベント『熊谷喜八料理美食会・素材王国青森県を料理する』においても「田子にんにく」と「初雪たけ」が特選素材として使われました。

県では県産品ブランド化の取り組みに力を入れているところであり、田子町生産者の皆様のご努力に敬意を表するとともに、今後一層のご活躍を期待いたします。

